

よくある質問

インドでビジネスを行う

IPR（著作権）

1. 著作権局に登録されるまでにどれくらいの時間がかかりますか？

あなたが申請書を提出し、日記番号を受け取った後、あなたはあなたの主張に対して著作権局に異議が申し立てられないように30日間の必須期間を待たなければなりません。異議が申し立てられた場合、著作権登録官は両当事者に聴聞の機会を与えた後、作品またはその他の方法で登録することを決定する場合があります。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

2. Webサイトの著作権登録を取得するにはどうすればよいですか？

ウェブサイトは、ウェブページまたは相互接続されたウェブページのセットとして理解され、サーバーでホストまたは保存され、一般のメンバーがオンラインで利用できるようになります。ユーザーは、内部のハイパーテキストリンクや検索機能を使用して、Webページのスクロールなどのさまざまな方法で、Webサイト上の情報やその他の基本的な作業にアクセスできます。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

3. 未発表の作品が登録されているか（著作権法1957）

はい。公開作品と未公開作品の両方を登録できます。1958年1月21日より前、つまり1957年の著作権法が発効する前に出版された作品の著作権も登録できます。公開された作品の3つのコピーがアプリケーションと一緒に送信される場合があります。登録する作品が未発表の場合は、著作権局の印鑑押印申請書とともに、写しの写しを送付してください。原稿が2部送付された場合は、同じスタンプが押されたものの1部が返却され、もう1部は可能な限り著作権局に保管され、機密保持されます。また、原稿全体ではなく、未発表作品の抜粋のみを送付し、著作権局の印鑑を押印した後、抜粋の返却を求めることも可能です。作品が非公開として登録され、その後公開された場合、申請者はフォームVの著作権登録に入力された詳細の変更を所定の手数料で申請することができます。登録のプロセスと著作権の登録料は同じです。詳細については、[次のリンクにアクセスしてください](#)。

4. コンピュータソフトウェアは著作権法に基づいて登録できますか？

はい。コンピュータソフトウェアまたはプログラムは、「文学作品」として登録できます。著作権法のセクション2(o)に従って、1957年の「文学作品」には、コンピュータプログラム、表、およびコンピュータデータベースを含む編集物が含まれます。「ソースコード」と「オブジェクトコード」は、ソフトウェア製品の著作権の登録申請とともに提供する必要があります。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

5. 著作権が拒否された場合、訴訟を審理する機会がありますか？

2013年著作権規則の規則70(12)に従い、審問の機会を与えなければなりません。公聴会を経て初めて、作品の登録または却下が決定されます。申請者自身または彼/彼女の弁護士が審問に出る場合があります。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

6. 1957年の著作権法に基づく作品の登録に関するガイドラインは何ですか？

著作権規則の第13章、2013年は、修正されたとおり、作品の登録の手順を示しています。法律と規則のコピーは、支払いの際に出版のマネージャー、出版支店、Civil Lines、デリーまたは彼の認可されたディーラーから入手するか、著作権局のウェブサイトのリンクからダウンロードできます。

7. 専門家の支援なしに、作品の著作権の登録を個別に申請できますか？

はい。作者、権利所有者、譲受人、または法定相続人である個人は、著作権局で、または郵送で、または著作権局のWebサイト「www.copyright.gov」に詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

8. 著作権法に基づいて作品を登録するための料金はいくらですか？

申請が拒否された場合、料金は払い戻しできません。料金は、「著作権の登録機関であるニューデリー」宛てに郵送/請求書/オンラインで支払うことができます。著作権法に基づいて作品を登録するための料金については、[ここをクリックしてください](#)

9. 作品の著作権登録申請はどこでできますか？

著作権局は、あらゆる種類の作品に登録施設を提供するために設置されており、著作権登録官が所長を務め、ニューデリー-110 001の4階Jeevan Deep Buildingにあります。作品の登録申請は、午後2時

30分から午後4時30分まで、著作権局にあるカウンター。月曜日から金曜日までの午後。郵送でも受け付けます。2014年2月14日から、「Eファイリング機能」を介したオンライン登録が提供されました。これにより、申請者は、選択した時間と場所で申請を行うことができます。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

10. 1957年の著作権法に基づく作品の登録手順はどのようになっていますか？

登録手順は以下のとおりです。1) 登録申込書はフォームから
2) 各作品の登録は、別途お申し込みください。3) 各申請書には、規則の2番目のスケジュールで規定されている必要な手数料を伴う必要があります。4) 申請書には、申請者またはVakalatnamaまたは委任状が提出された支持者が署名する必要があります。5) 手数料は、「ドラフト請求書」、「ニューデリーで著作権を支払うレジストラ」を優先するインドの郵便注文、または電子決済によるものです。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

11. 著作権を主張するために作品を登録する必要がありますか？

いいえ。著作権の取得は自動的に行われ、正式な手続きは必要ありません。著作物は作品が作成されるとすぐに出現し、著作権を取得するために正式な手続きを完了する必要はありません。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

12. 著作権とは何ですか？

著作権は、文学、演劇、音楽、芸術作品の作成者、映画映画やサウンドレコーディングのプロデューサーに法律によって与えられる権利です。実際、それは、とりわけ、複製、公衆への伝達、作品の改作および翻訳の権利を含む権利の束です。作品によっては、権利の構成に若干のばらつきがある可能性があります。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

13. 知的財産には何が必要ですか？

知的財産とは、知的学部の活動により創り出された財産です。それは、発明、工業製品のデザイン、文学、芸術作品、最終的に商業で使用されるシンボルなどの心の創造を指します。知的財産権により、作成者または所有者は、これらが商業的に悪用されたときに、作品から利益を得ることができます。これらの権利は、対応する法律の規定に従って管理される法的権利です。知的財産権は、人類の進歩を促進する創造性と人間の努力に報いる。知的財産は、7つのカテゴリーに分類される。

特許工業デザイン商標著作権地理的表示集積回路の設計を置く

TRIPs協定に基づく非公開情報/貿易秘密の保護詳細については、[ここをクリックしてください](#)。